



第28回例会(2月15日)
平成31年3月1日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一
例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、響いていこう奉仕と友情-坂本広行



ゲスト卓話

大友啓史監督 最新作 映画「影裏」について

(株)電通 コンテンツビジネス・デザイン・センター プロデューサー
(株)OFFICE Oplus 取締役/プロデューサー

五十嵐 真志 様

映画「影裏 (えいり)」について、ご説明およびご提案をさせていただきます。

2017年と2018年の2年連続、芥川賞の作家を輩出し、全国で今、いちばん本が売れている岩手県。その盛岡市が舞台になった作品を地元出身の大友啓史監督が文学から映像というかたちに変換して、世界に向けて放とうとしています。それが「影裏」というプロジェクトになります。(原作者の) 沼田 (真佑) 先生は今、渋民に住まわっていて、これが最初の長編作品で、いきなり芥川賞を受賞したという感じです。大友監督は、(沼田先生の作品が) 賞を取る前、『文学界』という雑誌に載った段階から、この作品に目をつけていらっしゃいました。「受賞を機に、ぜひこれを映画化しよう」ということで動き始めました。

監督は、NHK時代に「ハゲタカ」「龍馬伝」、あとは白州次郎 (を描いたドラマなど)、濃密な人間ドラマを撮ってこられた。映画監督になってからは「るろうに剣心」を中心とするエンターテインメント作品を創ってきましたが、「影裏」については「もう一回、NHKのヒューマンドラマに原点回帰をしたい」と、もともと得意としている人間ドラマに挑戦しています。ずっと「故郷を舞台にした作品を撮りたい」と、題材を長いこと探していたんですが、「影裏」に出

スピーカー紹介

1996年電通入社。関西支社勤務を経て、2004年より東京営業局にてワーナー・ブラザース映画の洋画・邦画およそ40作品の宣伝プロモーションを担当。07年に2年間休職して、東京芸術大学大学院にて映画製作を学ぶ。芸大在学中はスタッフとして映画の制作現場に参加しながら、伊坂幸太郎氏原作の映画『ラッシュライフ』(09年公開)を企画・プロデュース。09年に電通に復職。以降、Netflixドラマ『火花』(16年公開)、映画『彼らが本気で編むときは、』(17年公開)、他PVや短編映画をプロデュース。公開待機作は、短編映画『ファミマを曲がれば私のうち』(19年)、映画『影裏』(20年公開予定)。

会ったことで、ようやくそれができるということで、すごく気合いを入れて昨年の夏、撮影に臨んだ。「純文学と大友啓史監督という大ヒットメーカー。この組み合わせが非常に意外だ」ということで昨年、(映画化が) 発表になったタイミングでマスコミや映画ファンから、かなりの反響がありました。

一足お先にキャスト情報を公開

(出演する) 俳優さんは、綾野剛さんと松田龍平さんを中心に、豪華俳優陣がこの作品を飾ってくれています。おそらく夏ぐらいには次のキャスト発表ができるんですけども…それまで情報を伏せておきたいところもあるんですが…本日は皆様に一足お先にキャスト情報を公開したいと思います。

安田顕さん「下町ロケット」にも出ていらっしゃいますし、(演劇ユニット)「TEAM NACS」の一

員で、いろいろな作品のバイプレーヤーですね。それから、中村倫也さん。去年のNHK「半分、青い。」という朝ドラでブレイクし、右肩上がりで人気が上がっている俳優さんです。それから、國村隼さん。言わずと知れた大ベテランだと思います。このキャストを迎えるにあたって、日本映画界を支える最高峰のスタッフを我々、用意しました。撮影の芦田さん、美術の杉本さん、編集の早野さん。日本アカデミーの撮影賞とか、美術賞とか、数々の賞を受賞している、すごく力のある方々がバックとして、この作品に集まってくれています。

去年の11月27日に情報解禁をしたところ、非常にたくさんの各メディアに取り上げていただきまして、岩手県ではテレビ岩手さんを中心に、盛岡タイムスさん、岩手日報さんに大きく扱ってもらいました。あとは、スポーツ紙のほうで非常に大きな扱いを受けて、ツイッターのブログでも、瞬間的に最大2位まで「影裏」という言葉が上がるほど、情報が世の中に回っていました。

この作品の大きな売りとなるのは「100パーセント、岩手県でロケを行っています」（ということ）。盛岡で作品の70パーセントの撮影を行い、岩手県全域にわたって撮影を行っています。監督が撮影中に言っていた、すごく印象的な言葉がありまして、「自分が生まれ育った盛岡。よく知っているはずの盛岡を、映画監督としての立場でカメラのレンズを通して見たときに、知っている景色がまったく違って見えた」ということです。「新しい発見と、新鮮な驚きがすごくあった」と（言っていた）。皆様にも、この映画を通して（それを）観ていただけるのではないかと、監督は言っています。ぜひ大スクリーンで「知っているはずの岩手が、こうも違って見えるのか」と体感していただきたいと思っています。

いくつか、場面写真があります。これまで世の中に出ていない写真も含めて、きょうは皆様にご覧いただきたいと思っています。

一関にある「ベイシー」というジャズバーを借りて撮影を行いました。これは「盛岡食堂」ですね。いつもとは違って見えると思うんですけど、ありのままを撮らせてもらっています。「影裏」は、釣りの場面がすごく多くて、岩手県にある川。4カ所ほど巡っています。浅瀬の広い川も撮っていますし、上流の木漏れ日がきれいな山の中の川とか、いろいろな川の表情も観ていただけたと思います。これが吉田さんの家です。綾野剛さんと国村隼さん。これは、映画の最後のほうで非常に緊迫感のあるシーンです。それを吉田さんの家を一日、借りて撮らせていただきました。どうもありがとうございました。

お読みいただいた方はおわかりになると思うんですが、非常に薄いページ数の原作で、しかも、すぐには内容がわかりにくい物語ですが、大友さんが映像化するにあたって、皆様が映像で観てもストーリーがわかるように、ミステリーのほうに振っています。簡単に言いますと、転勤で盛岡にやってきた綾野剛さんが、松田龍平さんと出会って、2人で釣りに行ったり、お酒を飲んだりして仲良くなっていく中で、震災が起こって龍平さんの行方がわからなくなってしまう。その彼を捜しに、綾野さんがいろいろな人を追っていくうちに、自分が親友だと思っていた龍平さんの裏の顔がだんだん見えてきて、「自分は彼のことを、どれくらいわかっていたんだろう？彼は、どういう人間だったんだろうか？」というところに想いを馳せていくヒューマン・ミステリーになっています。原作とは、だいぶ趣が違うと言いますか、サスペンス色が濃くなっているので、「本を読んだ方も全然違う『影裏』を、この映画で味わっていただけるんじゃないか」と思います。

この作品を、2019年に開局50周年を迎えるテレビ岩手さんが同社の記念事業として、製作を全面的にサポートしてくださっています。檜崎さんのご尽力もあり、撮影も滞りなく、去年の夏にできました。釜石のパートだけ撮影が残っていて、この4月に2日

間ほど、松田龍平さんと撮影を行います。しっかりとした重厚な人間ドラマを創ろうと思っていますので、我々は海外の映画祭にぜひ出品したいと思っています。世界の舞台で、盛岡が題材となった映画を多くの方に観ていただきたいという想いで作っているところです。

岩手100パーセントの映画にご協賛・ご協力を

皆様に純度100パーセントの岩手映画にご参加・ご支援をいただきたいと思い、本日はご提案を2つほど、お持ちしました。

ひとつは、ご協賛というかたちです。映画本編のエンドロールに「協賛社」というかたちで、お名前を入れさせていただきます。映画のエンドロールに名前を入れるのは、映画業界ではハードルが高く、特に大手の東宝さんとか、松竹さんが作る映画は、簡単には名前を入れさせてもらえないんですけれども、「影裏」は、大友さんが中心になって作った映画ということで「ここはぜひ、地元の皆様に開放したい。1社でも、1人でも多くの方に、自分の作品に参加して名前を入れていただきたい」という想いで、エンドロールのところでできることになりました。「協賛したい」という方にお考えいただきたいということです。同じく劇場用のポスター。これは全国版になりますが、ポスターとチラシといった宣（伝）材（料）物、あとは公式サイトにエンドロールと同様、お名前を入れさせていただきます。それから、自社で展開される広告物・広報物に「映画『影裏』を応援しています」と、キャッチフレーズとして使っていただくことが可能になります。

それから、映画の公開前に完成披露上映会を盛岡市で行う予定です。大友監督、綾野剛さんと松田龍平さんの3人による舞台挨拶とか、そういうイベントも行いながらの上映会になると思うんですが、そこでのご招待席を、ご協賛社の場合は10列分、ご用

意させていただきます。あとは、ご希望がありましたら、大友監督と対談していただいたり、会社のちょっとしたイベントにゲストとして来ていただいて話をしてもらったり。そういうことで、監督に稼働してもらうことも、調整できます。映画の前売り券のほうも、ご提供させていただくかたちです。これが基本メニューですけれども、「こんなことができると、協賛も考えられる」といったご要望がありましたら、我々も柔軟に対応したいと思っています。協賛は100万円で提供させていただいております。

ふたつめのメニューが「製作ご協力」になります。映画のエンドロールで「協賛社」という欄ではなく、「製作協力」という別の欄がありますので、そちらにお名前を入れさせていただくことになります。今、「製作協力」か「盛岡スペシャル・パートナー」の名称にするのか、検討中ですが、いずれにしても、エンドロールに入れさせていただきます。ポスターは製作協力の場合、盛岡版を作りますので、そちらにお名前を記載させていただきます。あとは、先ほどの協賛メニューといっしょです。こちらは50万円が目安ですが、「少し金額的に何とかできないかな？」というお話もありますので、その場合は上映会のお席の数ですとか、劇場前売り券の枚数で調整させていただいて、50万円ではなくて30万円ですとか、20万円でも大丈夫ですので、幅広い金額の中でご検討いただければと思っております。

最後にスケジュール。7月の終わりぐらいを目指して、映画の編集作業をしていきます。2020年1月・2月ぐらいで全国公開を考えています。今までの半年間ぐらい、盛岡のいろいろな企業を回らせていただいて、ご協賛・ご協力で十数社、決定いただいています。面白い取り組みとしては、「影裏」という日本酒を今、鶯の尾さんと南部美人さんが造っていて、映画の公開に合わせて、それをお店で飲めるようにしたり、一般の方を買っていただけるかたちで、商品化という動きもあります。「この映画を盛り上げる

ために、何かできないかな?」ということで、そういうニーズがありましたら、我々も応えていきたいと思っています。「岩手100パーセント映画というのが、ここ数年、なかったんじゃないか」という話を聞いています。「終わった人」という映画には、けっこう印象的に盛岡が出てきますけれども、あれは20パーセントぐらいが盛岡撮影で、残り80パーセントぐらいは東京とか、別のところでの撮影なんですけど、こ

の映画はどこを切り取っても岩手県が出てくる映画になります。そういう映画は、これまでもなかったし、これからも、なかなか生まれないかもしれない。「岩手100パーセント映画にぜひ皆様に参加していただきたい」という思いがあります。ご支援・ご協力をいただきたいと、お願いいたします。

例 会 報 告

第28回例会
平成31年2月15日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング
(それでこそロータリー)
- ・ビジター 樋山 桂さん (会友)
- ・ゲスト 五十嵐真志様 (株)OFFICE Oplus 取締役/プロデューサー)
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・功労者表彰



米山功労者メジャードナーとなられた小川 惇会員

米山功労者：

- 村井研一郎会員・藤村文昭会員
- 藤村吉隆会員・荒川鉄平会員
- 萩野忠良会員・坂本広行会員
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆佐藤重昭君…五十嵐さん、すばらしいゲスト卓話ありがとうございました。
皆様「影裏」への御協賛よろしくお願ひ致します。
- ◆吉田育弘君…映画「影裏」、プロデューサー五十嵐さんの卓話ありがとうございました。
私のセカンドの家がロケに使用されたこと、ご紹介いただきましたので。又、まだ家は売れておりません。
- ◆飯塚肇君…本日の例会を欠席します。

厚生労働省の慰霊巡拝事業に参加することが許され、2月13日より8日間の予定で、フィリピン各地の戦没地で現地慰霊をしております。

亡き父のすぐ下の弟が終戦の三か月前にフィリピンで戦死しており、現地に赴いて追悼したいという父の叶わなかった意志を果たすことが出来たので、ニコニコします。

- メイクアップ
地区=勝部君。
仙台平成.R.C.=橋本君。
盛岡西北.R.C.=下道君。
クラブ委員会=諏訪・岡村・西島・島山・吉田(明)君

出席報告

会員数/78名

出席数/50名

出席率/66.67%

前々回/83.78%



プログラムのお知らせ

- ・ 3月1日(金) ゲスト卓話 中條 鈴様 (Lips Dance School代表)「ダンスで生きる」
- 8日(金) 新入会員卓話 正司園祐司会員
- 15日(金) ゲスト卓話 (フードバンクいわて)
- 22日(金) 特別休会
- 29日(金) 地区大会説明会
- ・ 4月5日(金) 新入会員卓話 石田亨会員

●本号編集担当/諏訪 泰幸